

別記様式第 2 号（第 12 条関係）

受付番号	令和元年第 4 号
受付日	令和元年 10 月 7 日
質問者	伊藤昌志議員

## 文書質問答弁書

回 答 日：令和元年 10 月 23 日

担当部局：こども未来部

四日市市議会基本条例第 16 条第 1 項の規定に基づく伊藤昌志議員の文書質問について、同条第 3 項の規定に基づき、下記のとおり答弁いたします。

### ■質問

#### 1. 医療に関する情報提供について

6 月定例会月議会で、子宮頸がんワクチンの問題、子ども医療費窓口負担無料化によるコンビニ受診の問題を取り上げた。ワクチンには主反応、副反応があり、薬には主作用、副作用があるという事実から、市民への医療に関する情報提供についてどのような活動をしているか確認、提言する。

市民への医療に関する情報提供の考え方は？

現在、適切な情報提供できていると思うか？また、その理由は？また、今後の改善計画は？

適切な情報提供ができるためには、市の担当者が最新の医療情報を得ている必要があると考えるが、できているか？また今後の改善計画は？

### ■答弁

子宮頸がんワクチンや子ども医療費窓口負担無料化に関連して、市民への医療に関する情報提供についてご質問いただきました。本市では、ひとつは、情報発信のツールとしてホームページを活用しており、定期予防接種等の子どもの健康や母子保健に関する情報を掲載しています。また、生後 4 か月までの乳児のいる家庭に対する全戸訪問の際には、予防接種に関する詳しい情報を掲載した冊子「予防接種と子どもの健康」や、三重県と三重県小児科医会が作成した、子どもの病気やけがへの対応について記載されている「子どもの救急対応マニュアル」を配付し、正しい知識や情報の提供に努めております。

また、保護者から子どもの体調不良やけが、事故等に関する電話や窓口での相談があつ

た際には、毎回、保健師が詳しく状況を聞き取り、受診の必要性を判断し、自宅で療養していただく場合には、その対応方法等について助言を行っています。今後も子どもの健康状態等に不安がある保護者の気持ちに寄り添い、適切な判断による丁寧な対応を行ってまいりたいと考えております。

次に、適切な情報提供ができていくかという点についてご質問いただきました。例えば、子宮頸がんワクチンにおいては、副反応と疑われる事例が生じていることもあり、本市のホームページにおいて厚生労働省のホームページを紹介し、接種者及び保護者向けリーフレットを見ていただき、ワクチンの「意義・効果」と「接種後に起こりえる症状」について、閲覧できるようにしております。

また、適正受診の啓発を含め、保健師が電話等による相談を受ける際には、相談者の状況をしっかり聞き取り、適切な対応方法について助言を行っています。

さらに、妊娠届出の際にお渡ししている「よっかいち子育てガイドブック」や、「母子健康カレンダー」において、三重県が設置している、夜間の電話相談に医師などの専門職員が対応する「みえ子ども医療ダイヤル」や急な病気やけがのときに受診可能な医療機関の案内を24時間行う「三重県救急医療情報センター」の周知を図ることで、急な子どもの病気の際にも、適切な情報を入手していただけるよう努めております。

今後も、よりわかりやすく、正しい知識や情報が提供できるように努めてまいります。

次に、最新の医療情報を得ているかということについてご質問いただきました。最新の医療情報や健康情報、専門知識を得るために、市の保健師は、国や県、法人等が実施する妊産婦の支援やこどもの健康や発達に関する研修会、公衆衛生や災害時の危機管理に関する研修会等、多くの研修会に毎年、順に参加しております。研修会で学んだ内容については、課内で報告会をするとともに、市の保健師で構成する四日市市保健所保健師会において保健師間で共有しているところです。

今後も国等の発信する情報の入手に努めることや、研修会に積極的に参加することで、新しい情報を入手し、保健師のスキルアップに努めてまいりたいと考えております。